

あとちかつよう
町三小跡地活用ワークショップ2025

まちさんかいぎ

ちいき いばしょ
ひろばなどの地域の居場所ができれば
どんなことができるかな？

2025年10月26日（日）
町田第三小学校体育館

はじめに



ほんじつ

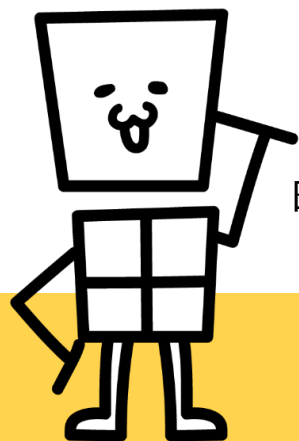
●本日のプログラム

子ども向け		大人向け
はじめに		【4分】
町三小の次の使い方について、「まちさんかいぎ」の目的		【11分】
【お話】 みんなの子ども食堂さくらんぼう 森下さん		【20分】
<移動しよう>		
Aグループ	Bグループ	
2つのガリバーマップを つくろう！ . . . 【30分】	どんなところができるか 体験してみよう . . . 【30分】	【お話】 横浜市立大学大学院 三輪先生 【25分】
ブレイクタイム（AとBで入れかわろう） 【10分】		ブレイクタイム（子どもの様子を見学） 【10分】
どんなところができるか 体験してみよう . . . 【30分】	2つのガリバーマップを つくろう！ . . . 【30分】	ディスカッション （森下さん、三輪先生への質問タイム） 【30分】
ガリバーマップを見てみよう！（発表）		【10分】
まとめ（三輪先生）		【5分】
市からのお知らせ・写真撮影		【5分】

・パンを食べ
ながらひと休
み！
・この時間で
付せんに聞いて
みたいこと
を書いておこ
う。

・帰る前にア
ンケートと
メッセージツ
リーにコメン
トを忘れず
に！

①町三小の次の使い方について (町三小跡地活用の経緯)



こうきょうしせつさいへん
町田市公共施設再編キャラクター
まちロボ

町三小の次の使い方について（町三小跡地活用の経緯）



● 跡地活用の検討スタート

2021年5月

「町田市新たな学校づくり推進計画」策定



2022年4月～

本町田地区の新たな学校づくりと合わせて、
町田第三小学校跡地活用の検討をスタート



町三小の次の使い方について（町三小跡地活用の経緯）



● 次の使い方がスタートするまでの流れ

2022年度

ちいき いけん
地域との意見
こうかん じょうほうきょうゆう
交換・情報共有

2023年度

こうきょうじゅうようせいり
公共需要整理

2024年度

市民アンケート、
ワークショップ

ワークショップでは、学校跡地がどうなっていくのがよいか、みんなで考えた！

話が早くまとまったら2030年度にスタート予定！

2025年度

かつよう
活用の
ほうこうせいけつてい
方向性決定

今ココ！

2026年度

きほんけいかくさくてい
基本計画策定

2027年度

せつけいなど
設計等

2028・2029年度

こうしゃ かいたい せいびなど
校舎の解体、整備等

2030年度

かつようかいし
活用開始

次の使い方がスタート！

あとかちかつようれんらくきょうぎかい
町田第三小学校跡地活用連絡協議会

本町田ひなた小開校

町三小閉校、学校跡地

使い方の大きな方向性を決めて、みんなにもっと町三小跡地のことを知ってもらうためにコンセプトブックを作成予定。

学校の周辺の町内会・自治会などのみなさんと話し合う場

かんが
町田市が考えていること
けんとう じょうきょう
(検討状況)



こうきょうしせつさいへん
町田市公共施設再編キャラクター
まちおさん

町田市が考えていること（検討状況）



●2024年度の市民ワークショップのアイデア



会場内のパネルに昨年度のワークショップの様子を紹介しています！

1組 体験を通じて世代を超えて「遊べる場」

2組 「ゆったり過ごそう みんなの居場所」

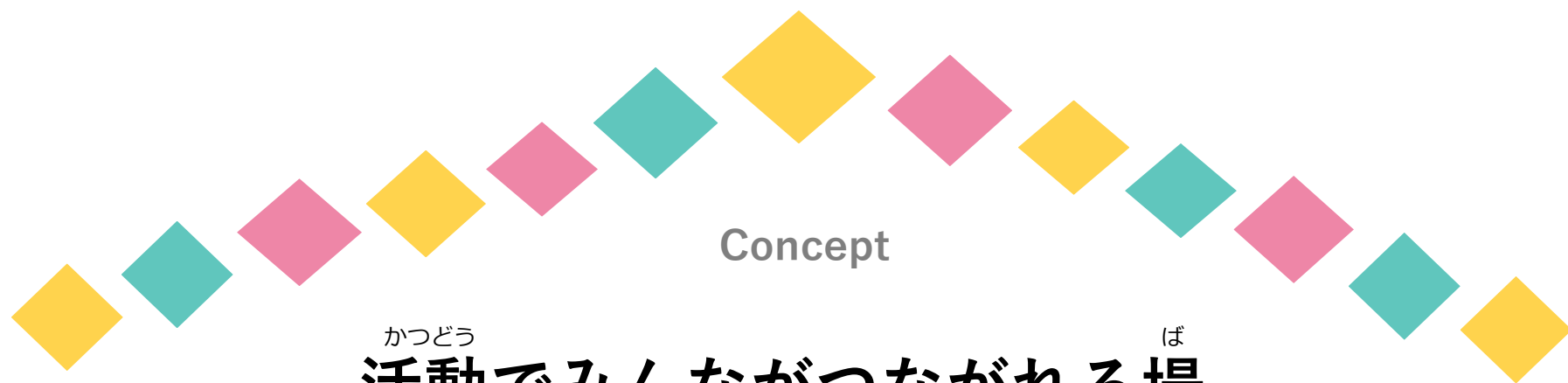
3組 「あ！ここに行こう！」地域のいこいと交流の場

～みんなのサードプレイス～

町田市が考えていること（検討状況）



●コンセプト（素案）



Concept

活動でみんながつながれる場
“まちさんプレイス”

（素案）

町田市が考えていること（検討状況）



●コンセプト（素案）

活動でみんながつながれる場
“まちさんプレイス”（素案）

町田第三小学校は、教育活動の場としてだけでなく、地域に住んでいる人の活動の場として、長い間、活用されてきました。

町田第三小学校の跡地は、長い歴史の中で培った、地域から愛されているという強みを活かし、いろいろな地域活動ができる空間に生まれ変わります。

地域に住んでいる人や地域に関わっている人が、気軽に利用でき、そこに行くとホッとできる、そんな空間を「活動」・「交流」・「歴史」・「防災」などのキーワードを通して、いろんな世代がつながり合える、みんなの居場所（サードプレイス）を目指します。

町田市が考えていること（検討状況）



●サードプレイスって？

だいさん いばしょ ばしょ
第三の居場所といわれる場所。

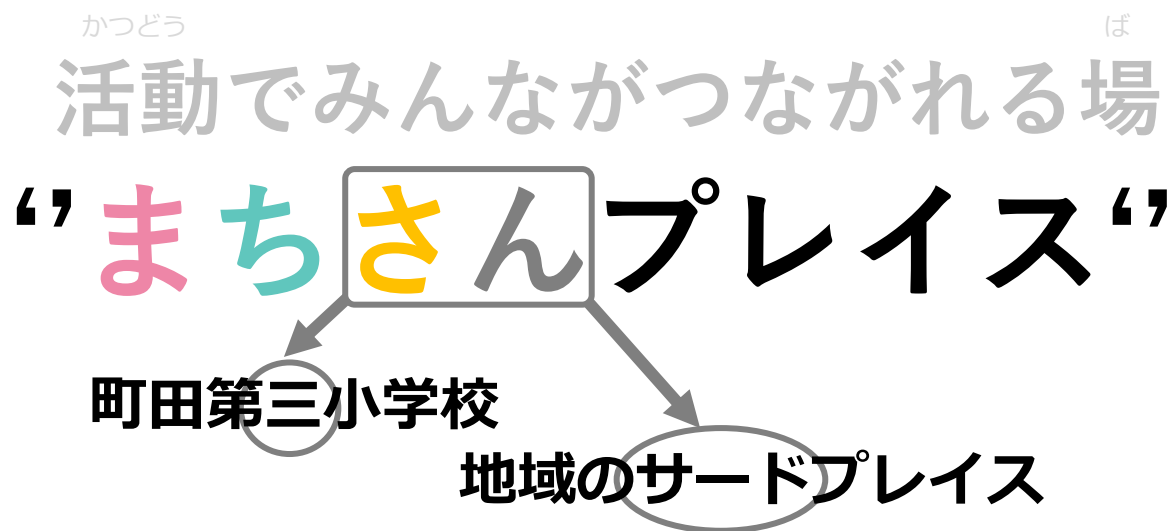
こうえん としょかん こうきょうてき
公園やカフェ、図書館といった公共的なスペース。

なら ごと しゅみ かつどう あつ
習い事や趣味のサークル、ボランティア活動などの人の集まり。

かてい じたく
▶ 家庭や自宅（ファーストプレイス）

しごと ばしょ
▶ 仕事をする場所や学校など（セカンドプレイス）

ゆらい
●“まちさんプレイス”の由来



町田市が考えていること（検討状況）



● 町三小跡地の使い方

町三小跡地の使い方

さいがいじ
災害時の使い方

にちじょう
日常の使い方

町田市が考えていること（検討状況）



●町三小跡地の使い方

さいがいじ 災害時の使い方

みんなが安心できる地域の防災の拠点

▶ 跡地になっても、地域の避難施設機能を担っていく。

▶ 在宅避難者への物資（食べ物や飲み物など）や水道、電気などの
ライフラインの供給機能、災害情報拠点機能。

町田市が考えていること（検討状況）



●町三小跡地の使い方

にちじょう
日常の使い方

「さまざまな体験・活動ができる広場」機能

2

1

「だれでも自由に使える広場」機能

3

「みんながつながれる地域の居場所」機能

町田市が考えていること（検討状況）



● 日常の3つの使い方

1 ひろば 広場 「だれでも自由に使える広場」 機能

ちいき まつ うんどうかい どお おこな
地域イベント（お祭りや運動会など）がこれまで通り行うことができる。

とき いがい おも おも す つか かた げんてい いごち
イベントの時以外はだれでも思い思いに過ごせる、使い方を限定しない居心地のよい芝生の広場づくりを目指す。

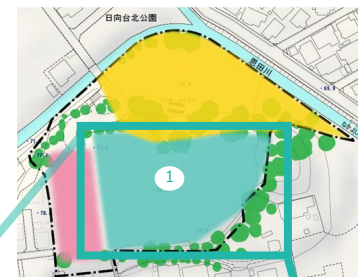
使い方のイメージ



【地域のお祭り】



【広場で思い思いに過ごす】

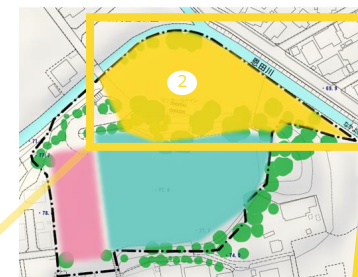


町田市が考えていること（検討状況）



● 日常の3つの使い方

2 ひろば 広場 「さまざまな体験・活動ができる広場」 機能



特徴のある地形を活かしたアクティビティなど町三小跡地なら
ではの体験ができる。

川からの浸水時にも影響が少ない設えで目的をもった活動
(ex: ニュースポーツやドッグランなど) ができる場づくりを目指す。

使い方のイメージ



【農業体験・収穫体験】



【ニュースポーツなどを楽しむ】



町田市が考えていること（検討状況）



● 日常の3つの使い方

3 たてもの 建物

「みんながつながれる地域の居場所」機能

ちいき す ちいき かか ちいき かつどう
地域に住んでいる人や地域に関わりがある人が地域活動など、
もくてき りよう
さまざまな目的で利用。

みんながつながれる居場所づくりを目指す。

さいがいじ ちいき ぼうさいきょてん いち づ
災害時の地域の防災拠点としても位置付ける。

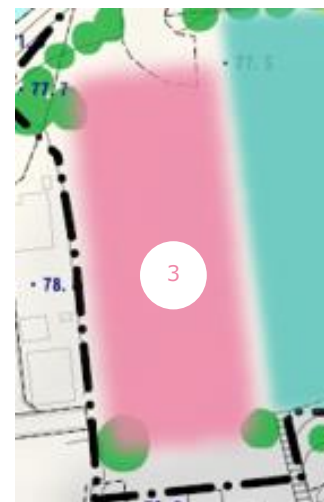
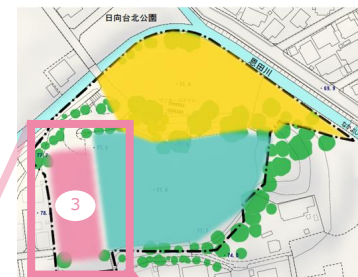
使い方のイメージ



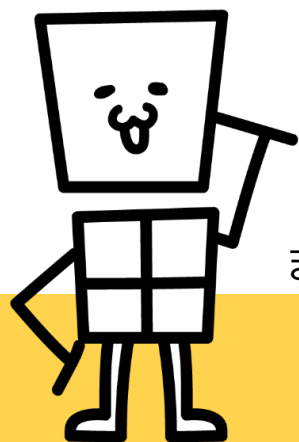
【みんなの居場所】



【シェアキッチン】



「まちさんかいぎ」の^{もくてき}目的



まちロボ

② 「まちさんかいぎ」の目的

もくてき



● 目的

もくてき

ひろば^{ちいき}を^{ふく}含む^{いばしょ}地域の居場所^{いばしょ}で

どんなことができるか



お話を^{はなし}聞^きいたり、^{じっさい}実際に^{たいけん}体験^{かんが}してみ^{かんが}て考^{かんが}える

② 「まちさんかいぎ」の^{もくてき}目的



● どうやって^{かんが}考える？

▶ 【子ども向け】と【大人向け】で分かれたプログラム

子ども

・ 2つのガリバーマップをつくろう！

・ どん^{たいけん}なことができるか体験してみよう！

・ 【お話】 ^{はなし}みんなの子ども^{しょくどう}食堂さくらんぼう^{もりした}
（^{かしま}森下さん、^{かしま}鹿島さん）
「^{つか}ひろばなどを^{ちいき}使った^{いはしよ}地域の^{とく}居場所^くづくりの取り組み」

大人

・ 【お話】 ^{はなし}横浜市立大学^{よこはましりつだいがく}大学院^{だいがくいん}三輪^{みわ}先生^{せんせい}
「^{ちいき}ひろばなどの^{いはしよ}地域の^{たいせつ}居場所があることの大切さ」